

令和6年1月5日

佐渡ビジネスコンテスト 2024 審査委員名簿・経歴

審査委員長

氏名	鎌田 恭幸 YASUYUKI KAMATA
所属	鎌倉投信株式会社
役職	代表取締役社長
経歴	1965年生、島根県大田市出身、東京都立大学法学部卒業後、三井信託銀行（現三井住友信託銀行）、パークレイズ・グローバル・インベスターズ信託銀行（現ブラックロック・ジャパン）を通じて30年にわたり資産運用業務に携わる。 株式等の運用、運用商品の企画、年金等の機関投資家営業等を経て、元パークレイズ・グローバル・インベスターズ信託銀行の代表取締役副社長を務める。 2008年11月に鎌倉投信株式会社を創業し、現在に至っている。

審査委員

氏名	石井 和彦 KAZUHIKO ISHII
所属	トヨクモ株式会社（旧社名：サイボウズスタートアップス株式会社）
役職	取締役経営管理本部長
経歴	新潟県立佐渡高校卒業、東北大学工学部生物化学工学科卒業後、株式会社住友銀行（現三井住友銀行）に入行。 2003年10月にサイボウズ株式会社に入社し、新卒採用の立ち上げや、東証一部指定などの業務に従事。 その後も東証への新規上場などの業務に携わり、サイボウズスタートアップス株式会社（現トヨクモ株式会社）の取締役役に就任。数名の規模から事業を立ち上げ、IPOの責任者として、2020年9月に東証マザーズに上場をはたしている。

氏名	荒木 幸男 YUKIO ARAKI
所属	株式会社エー・ソリューションズ
役職	代表取締役社長
経歴	中央大学法学部卒業 中央大学大学院戦略経営研究科修了（MBA）、日本勧業角丸証券株式会社（現 みずほ証券）に入社後、リテール、プロップトレード、調査、経営企画部門を歴任し、1999年証券会社向けにディーリングやトレーディング業

	<p>務用などの自社開発パッケージソフトを開発・販売する株式会社インタートレードを創業、2004年に東証マザーズに上場させる。</p> <p>2010年、同社より事業譲渡を受けて株式会社エー・ソリューションズ創業、現在に至る。日本証券アナリスト協会 認定アナリスト (CMA)。日本ベンチャーキャピタル協会 (個人会員)</p>
--	--

氏名	鈴木 卓人 TAKUTO SUZUKI
所属	株式会社リライフ
役職	代表取締役
経歴	<p>大手不動産会社を経て 2014 年に株式会社リライフを創業。同社代表取締役に就任。都内に不動産店を 20 店舗展開し会社を成長させている。</p> <p>また、テクノロジーで不動産業の生産性向上を図る事を目的として、各種オペレーションシステムの開発を行う。</p> <p>2019 年より佐渡島に不動産テックの中心となる佐渡データ管理センターを設置、佐渡島との関係を深めている。</p>

氏名	高橋 秀之 HIDEYUKI TAKAHASHI
所属	新潟ベンチャーキャピタル株式会社
役職	取締役会長
経歴	<p>新潟県立高田高校卒業、立教大学法学部卒業後に新潟中央銀行へ入行、同行にて 25 年間勤務後、同行破綻により大光銀行へ入行。</p> <p>その後愛宕商事株式会社代表取締役に就任し 16 年間同社の成長を牽引。</p> <p>現在は、新潟ベンチャーキャピタル株式会社取締役会長に就任し、いろいろな経験といろいろな人との繋がりを生かして活動中。</p>

氏名	遠山 功 ISAO TOOYAMA
所属	INSIGHT LAB 株式会社
役職	代表取締役社長 CEO
経歴	<p>東京電機大学理工学部数学科卒業、ビジネスブレクスルー大学大学院経営学研究科修了 (MBA)。</p> <p>2005 年データ分析を基盤とする INSIGHT LAB 株式会社を創業。2019 年イスラエルに会社設立。2020 年 6 月に新潟研究開発センターを設置し新潟大学とデータプラットフォーム共同研究に着手。2022 年 1 月上越市サテライトオフィス設置。新潟イノベーションベース代表理事、EO 北陸会長、東京電機大学非常勤講師。2023 年 10 月には佐渡市にサテライトオフィスを設置。</p>

氏名	萩田 絢也 JUNYA HAGITA
所属	株式会社萩田換地
役職	代表取締役社長
経歴	新潟県立佐渡高校卒業、明海大学不動産学部不動産学科卒業、東京都内で不動産会社、不動産鑑定会社に勤務後、佐渡島へ帰郷。 2019年10月、株式会社萩田換地代表取締役社長に就任。不動産業、建築業のほか、佐渡島内外で飲食店を9店舗経営。 新潟県中小企業家同友会元佐渡支部長並びに NEXT 佐渡メンターとして佐渡島への創業支援、企業誘致に携わっている。

氏名	豊田 光世 MITSUYO TOYODA
所属	新潟大学佐渡自然共生科学センター
役職	准教授
経歴	東京都出身。米国大学院で環境倫理と哲学対話の研究に従事。帰国後、東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程にて、環境倫理と哲学対話を統合し、佐渡島をフィールドとして市民参加の環境保全に向けた合意形成の実装研究を行う。博士（学術）を2009年に取得。兵庫県立大学環境人間学部講師（2010-2013）、東京工業大学グローバルリーダー教育院特任准教授（2014-2015）を経て、2015年9月より現職。コミュニティデザインの多彩なプロジェクトに従事。

注) 審査委員が、審査対象者と一定の関係性を有するみなされる場合（経営に参画している、株主である、6親等内の親族である、取引先である、支援機関のメンターとして当該事業の計画策定を支援している等）には、該当案件の審査からは除かれます。